



丹波市立 農の学校 第1期
募集要項

目次

1. 「丹波市立 農の学校」とは	P 2
2. 募 集 要 項	P 2
3. 出 願 方 法	P 3
4. 助 成 制 度	P 4
5. 講 師 一 覧	P 5
6. 開 講 場 所	P 6

みのり

1. 「丹波市立 農の学校」とは

「丹波市立 農の学校」は、1年間を通じて、里山の資源を生かした有機農業の技術、最先端のICT技術とデータ分析による次世代農業経営を学ぶ、「古くてあたらしい」オトナのための農業の学校です。

農業は、人が生きるために欠かせない産業であり、また、「農」は、人々の営みそのものです。

これから農業を本格的にはじめようという方も、「農」を起点とした豊かな働き方・暮らし方にシフトしたいとお考えの方も、この学校に通う1年間を通じて、あなたならではの農業スタイルがきっと見つかります。

2. 募集要項

開講期間	2019年4月～2020年3月（1年間／3学期制）
	入学式 2019年4月8日（月）10:00～12:00 / 13:30～オリエンテーション
	卒業式 2020年3月20日（祝）10:00～12:00 / 13:30～卒業発表
	1学期 2019年4月8日～8月8日 夏休み 2019年8月9日～24日
	2学期 2019年8月25日～12月19日 秋休み 2019年10月11日～19日
	3学期 2020年1月12日～3月20日 冬休み 2019年12月20日～2020年1月11日
開講場所	農の学校 校舎およびほ場（兵庫県丹波市市島町上田）
総受講時間	1216時間 / 週3～5日程度
カリキュラム	<ul style="list-style-type: none"> ・座学講義 184時間 <li style="padding-left: 20px;">（農業技術基礎32H／農業技術演習16H／農業技術研究20H／農業経営【中継講義】52H／農業経営ICT活用44H／営農計画策定20H） ・栽培実習・実践 160日間（960時間） ・視察/現地研修 12日間（72時間） ・日本農業技術検定2・3級受験
課外プログラム	地域のマスター農家での短期研修／日本農業技術検定受験（2・3級）
定員	20名（第1期生）
入学要件	18歳以上の方／高等学校卒業程度の学力を有すること／健康状態が良好であること
費用	授業料 512,000円 テキスト購入費 3,000円（『農業技術の教科書』） 受検料 6,500円 / 日本農業技術検定2・3級 ※以上、すべて税別 ※講義会場までの往復交通費については各自の負担となります。
出願方法	当校のホームページ上の入学申込ボタンより必要項目を入力し、応募締切日までに 出願を行ってください。 入学願書のご提出による出願も可能です。 https://agri-innovation.jp/minori/
出願受付期間	2018年8月23日(木)～2019年3月22日(金)
	※募集期間中であっても定員に達し次第、応募を締め切らせていただきます。

3. 出願方法

1) 出願

「丹波市立 農の学校」公式WEBサイトより、入学申込みフォームに必要事項を記入の上、出願受付期間内にお申込み下さい。お申込みのご住所まで、入学手続き書類をお送りします。

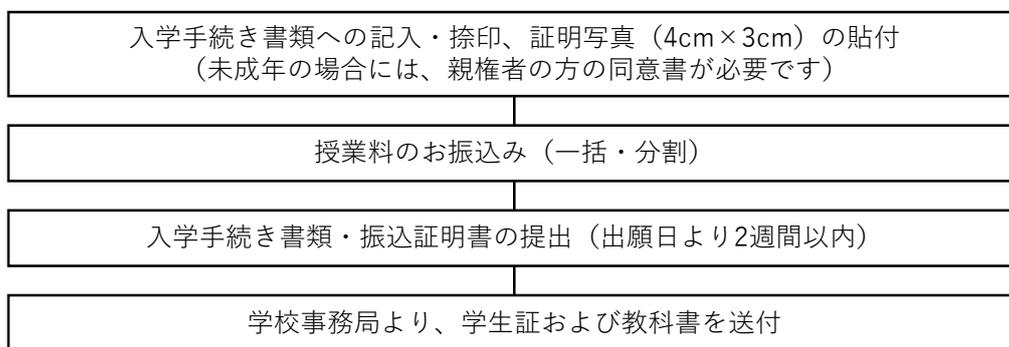
<https://agri-innovation.jp/minori/>

※インターネットからのお申込みが難しい場合は、電話・メールにて学校事務局までお問合せ下さい。

2) 入学手続きの流れ

入学手続き書類をご確認の上、「入学手続きの手引き」に従ってお手続きをお願いします。

お手続きは、上記出願日より2週間以内にお済ませ下さい。



3) 授業料のお支払い方法

入学手続き書類に同封の振込用紙にてお振込み下さい。なお、振込手数料は各自のご負担となります。

お支払い方法は、下記よりお選びいただけます。

1. 一括納入

授業料及びその他の費用を一括で納入する場合

出願～入学手続き書類提出までの期間にお振込み下さい。

2. 分割納入

学期ごとに分割して授業料を納入する場合

第1回納入／1学期分の授業料（220,000円）＋その他の費用＋事務手数料（税別/5,000円）

※納入期限：出願～入学手続き書類提出までの期間にお振込み下さい。

第2回納入／2学期分の授業料（146,000円）＋その他の費用＋事務手数料（税別/5,000円）

※納入期限：2019年7月31日（水）

第3回納入／3学期分の授業料（146,000円）＋その他の費用＋事務手数料（税別/5,000円）

※納入期限：2019年12月20日（金）

4) 各種提出物の送付先

〒600-8841 京都府京都市下京区朱雀正会町1-1 KYOCA会館3F

株式会社マイファーム 「農の学校」事務局 （075-746-6213）

4. 助成制度

ご入学にあたり、丹波市への就農・移住に対するサポート体制（助成金等）を準備しています。
詳細については、2018年・秋に公表予定です。

1) 家賃助成（受講期間中）

・市外から丹波市内に移り、新たに住居を借りた場合、丹波市が家賃の一部助成を予定しています。

2) 家賃助成（就農時）

・卒業後、丹波市内に定住し、就農した場合、丹波市が1年間の家賃の一部助成を予定しています。

3) 就農準備等

- ・卒業後、丹波市内で就農する場合、丹波市が農地の取得をサポートいたします。
- ・卒業後、丹波市内で就農する場合、市及び県・丹波農業改良普及センター等が連携し、農業経営、栽培技術、運営資金等の相談に応じます。
- ・就農後、丹波市で認定新規就農者の認定を受けられた方には、農業機械・農業施設導入経費について、一部助成制度があります。

4) 国による就農準備制度

- ・「丹波市立 農の学校」は、国が実施する「農業次世代人材投資資金（準備型）」の認定研修機関として登録予定です。卒業後の進路として就農を希望する場合、受講期間中に年間最大150万円の給付を受けることができます。
- ※国が設定する交付要件（就農時の年齢が45歳未満など）を満たす場合に限りです。

5. 講師一覧

「丹波市立 農の学校」の講義では、実務経験が豊富な農業経営者・農業技術の専門家らが講師を担当します。

学長講演



西辻一真 Nishitsuji Kazuma
株式会社マイファーム 代表取締役
アグリノベーション大学校 初代学長

1982年福井県生まれ、2006年京都大学農学部資源生物科学科卒業。大学を卒業後、1年間の社会人経験を経て、幼少期に福井で見た休耕地をなんとかしたい！という思いから、「自産自消」の理念を掲げて株式会社マイファームを設立。

2010年、戦後最年少で農林水産省政策審議委員に就任。2014年、内閣府国家戦略特区農業特区委員就任。2016年、総務省「ふるさとづくり大賞」優秀賞受賞。

農業技術（基礎・演習）



村山邦彦 Murayama Kunihiko
伊賀ベジタブルファーム株式会社
代表取締役

京都大学大学院エネルギー科学研究科修士修了。機械エンジニア～高校教員を経て脱サラ、2年半の農業研修の後、2007年三重県伊賀市で就農。その後、農場を法人化して伊賀ベジタブルファーム(株)設立。

また、地域の有機農業を推進する取組のなかで農産物流通を担う(株)へんこを中間の生産者として設立。多様な人と連携しながら、ロジカルな思考に基づいた持続可能な農と食のしくみづくりに取り組んでいる。

農業技術（基礎・テーマ研究）



石原北斗 Ishihara Hokuto
アグリノベーション大学校 学長
株式会社マイファーム 執行役員

東京農業大学大学院農学研究科修士課程修了。約2年間にわたりケニア農村部に滞在し、在来農業に関する研究を行う。専門商社で中国や東南アジア、中南米における農産物の開発輸入に携わったのち2012年4月にマイファーム入社。現在はアグリノベーション大学校の学長を務めながら、農業を軸とした企業コンサル、マイファームの新規事業室、海外事業展開を担う。2018年より、同社執行役員就任。

農業技術（基礎・演習）



志野祐介 Shino Yusuke
株式会社マイファーム/株式会社マイファームオリジン

2007年千葉県東金市で就農し、あいよ農場を設立。農場として「知産知消」が当たり前の世の中を目指し、「マイ農家」「軒先おじゃマルシェ」といった直接食べる人との関係を築いていく販路を拡大していく。農場には年間700人以上が気軽に訪れ、いわば「会いにいける農家」として農業の面白さ、厳しさ、大切さをも伝える。現在、福井県にてカフェリリーを一から立ち上げ、新天地にて活躍中。

栽培実習・実践



株式会社耕す 丹波農場

丹波農場は、Food Relation Network自主生産プロジェクト耕すの西の拠点として2013年4月よりスタート。普段使いの定番野菜を中心に年間20～30品目の有機野菜を生産、販売。美味しく、見た目もきれい。そして何より豊かな「香り」に包まれた有機野菜をお届けして、「丹波の野菜」の魅力を生産者に発信しています。

経営面積：約5.5ha（2018年8月現在）

課外研修プログラム



地域マスター農家

丹波市の有機農業の歴史は、丹波市市島地域に市島有機農業研究会が発足した1975年にさかのぼります。それ以後、有機農業の参入・普及啓発を促進し、丹波という大きなブランドと歴史に裏付けられた有機農業を確立しています。そのような地域の特産物栽培等に取り組む、地域のマスター農家のもとで一定期間、集中的に研修を行います。

農業経営 / 営農計画作成



木本一花 Kimoto Itsuka
株式会社マイファーム 取締役

1985年生まれ、慶應義塾大学文学部卒。IT企業の営業職、フリーライターを経て、2013年6月株式会社マイファーム入社。同10月、福井県坂井市三国町へ単身転勤し、株式会社JINの副社長として、農園レストラン&宿泊施設「アグリツーリズムNora」の運営や、農産物加工事業の立ち上げを務める。

農業経営ICT活用



金田千広 Kanada Chihiro
テラスマイル株式会社 執行役員

愛知県豊橋市生まれ。東京大学農学部卒業後、電気工事会社で広報を担当した後、2015年 株式会社エムスクエアラボにて農業ロボット事業、起業家育成事業、農業法人の立ち上げに関わった。2018年テラスマイル株式会社の執行役員としてサービス企画、プロジェクト推進を行っている。

6. 開講場所

< 農の学校 校舎 >

兵庫県丹波市市島町上田

アクセス：大阪・京都・兵庫方面・伊丹空港から1～2時間

【車でお越しの場合】舞鶴若狭自動車道春日ICより車で15分/JR「福知山駅」より車で20分

【公共交通機関でお越しの場合】JR福知山線「市島駅」より徒歩20分



※「農の学校」開校に伴い、建屋は2019年2月、全面改修予定です。（写真は改修前）

< 農の学校 ほ場 >

兵庫県丹波市市島町上田地内（校舎周辺）

学校専有農地（1.3ha）にて栽培実習を行います。年間30～40品目を栽培します。





設立：丹波市

〒669-4192 兵庫県丹波市春日町黒井811

担当：丹波市産業経済部 農業振興課

TEL : 0795-74-1465



運営：株式会社マイファーム

京都本社 / 〒600-8841 京都府京都市下京区朱雀正会町1-1 KYOCA会館3F

TEL : 0120-975-257 (営業時間 / 10:00~18:00 ※水・日・祝を除く)

E-mail : info@agri-innovation.jp

URL : <http://myfarm.co.jp/>